

# 『吾輩は猫である』 下篇自序

夏目漱石

青空文庫



「猫」の下巻を活字に植えて見たら頁ページが足りないから、もう少し書き足してくれと云う。書肆しよしは「猫」を以て伸縮自在と心得て居るらしい。いくら猫でも一いったん旦かめ甕へ落ちて往生した以上は、そう安っぽく復活が出来る訳のものではない。頁が足らんからと云うて、おいそれと甕かめから這はい上る様では猫の沽券こけんにも関わる事だから是これだけ丈は御免蒙ごめんこうむることに致した。

「猫」の甕へ落ちる時分は、漱石先生は、巻中の主人公苦沙弥先生と同じく教師であつた。甕へ落ちてから何力月経たつたか大往生を遂げた猫は固もとより知る筈はずがない。然し此序をかく今日の漱石先生は既に教師ではなくなつた。主人苦沙弥先生も今頃は休職か、

免職になったかも知れぬ。世の中は猫の目玉の様にぐるぐる廻転している。僅わずか数カ月うちに往生するのも出来る。月給を棒に振るものも出来る。暮も過ぎ正月も過ぎ、花も散って、また若葉の时节となった。是これからどの位廻転するかわからない、只長たゞこえにし変らぬものは甕の中の猫の中の眼玉の中の瞳ひとみだけである。

明治四十年五月

# 青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚版 夏目漱石全集第十卷」筑摩書房

1972（昭和47）年1月10日第1刷発行

入力：Nana ohbe

校正：米田進

2002年4月27日作成

2007年7月20日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランテイアの皆さんです。

# 『吾輩は猫である』 下篇自序

夏目漱石

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>